

# 「低炭素都市(環境モデル都市等)グリーン・ジョブ創出事業」事業例

## エコハウスの普及

低炭素都市の実現のためには、生活の拠点である住居を、新設・既設ともに省エネ型のものに切り替えていくことが必須。そのため、エコハウス需要の創出に加え、地域における住宅供給の担い手である建築関係者のスキルアップ及び人手の確保が必要。

市町村

委託

連絡調整

ハローワーク等

### エコハウス普及促進組織(民間企業等)

- 研修事業
  - ・断熱・採光・地域産材加工等の施工技術の研修
  - ・失敗事例・成功事例の検証
- エコハウス建設・エコ改修の促進に向けた広報、支援
  - ・モデルハウスの建設、住民見学受入れ、解説員の雇用
  - ・高齢者向け断熱リフォームの推進 等



## 自然・再生可能エネルギーの普及

低炭素都市の実現のためには、バイオマス・太陽光・風力等の自然エネルギーの大規模かつ早急な活用が必須。その原料加工、設備製造・設置等に際しての人手を確保することが必要。

(例)木材チップの加工

市町村

委託

連絡調整

ハローワーク等

### 木材チップ加工会社

(作業内容例)

- ・間伐材等の剥皮、チップ製造
- ・チップ販売・運送
- ・剥皮機・チップパーのメンテナンス



## エコツアーの促進

修学旅行・企業研修・個人旅行など、今後需要拡大が見込まれる「エコツアー」が、商品として成り立ち、新たな観光産業を創出するために不可欠である、優秀なガイドを養成し、雇用。

市町村

委託

連絡調整

ハローワーク等

### エコツアー振興組織(観光関係団体等)

- NPO法人、旅行会社等が運営。
- 1～2年間の研修付雇用  
(研修内容：環境問題、まちの歴史、語学等)

スキル取得後は、同センターでの就職、観光案内所等での就職、独立等の選択が可。

閑散期には、集中研修、まちづくりNPOへの活動協力、広報活動等により、さらなるスキルアップ。

## 林建共働等による森林・林道整備

森林による大幅なCO2吸収のためには、間伐、植林、林地残材の搬出、林道整備等が急務。一方、林業労働力の高齢化等による人手不足が課題。林建共働により、建設従事者等の余剰労働力の活用も可能。

市町村

委託

連絡調整

ハローワーク等

### 森林組合等

- 人手不足地域の情報集約、需給マッチング。
- 離職者、求職者、転職希望者等を中心に雇用。  
(作業内容例)
  - ・間伐、植林等(林業従事者の見習いによる技術習得)
  - ・林道環境整備(除草、清掃等)
  - ・エコツアー客の林業体験時の接客
  - ・バイオマスエネルギー抽出・加工工場への運送



# (参考)環境モデル都市・低炭素都市推進協議会について

## 目的

- 我が国を低炭素社会に転換していくためには、ライフスタイル、都市や交通のあり方など**社会の仕組みを根本から変えることが必要**。
- 今後目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示すため、国は、温室効果ガスの大幅削減など**高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市**を「環境モデル都市」として選定し、その実現を支援。
- 市民や地元企業の参加など**地域一丸となった底力の発揮により低炭素型の都市・地域モデルを構築**し、地球環境負荷の低減と地域の持続的発展を同時に実現することにより、**地域の元気を回復**。

## 経緯

○平成20年4月11日から5月21日まで募集したところ、多様な都市・地域から82件（89団体）の応募あり。

➡ **環境モデル都市として、平成20年7月22日に6都市、平成21年1月23日に7都市を選定公表**

### 環境モデル都市 (13都市)

大都市	横浜市、北九州市、京都市、堺市
地方中心都市	帯広市、富山市、飯田市、豊田市
小規模市町村	下川町、水俣市、禰原町、宮古島市
東京特別区	千代田区

平成20年7月の選定時、提案の改善に取り組むべき「**環境モデル候補都市**」とされ、平成21年1月に追加選定。

## 「低炭素都市推進協議会」の創設（平成20年12月14日）

意欲ある自治体が参加し、

- ・ **優れた事例の全国展開**や**自治体同士の切磋琢磨**を推進。
- ・ **世界に向けた情報発信**。

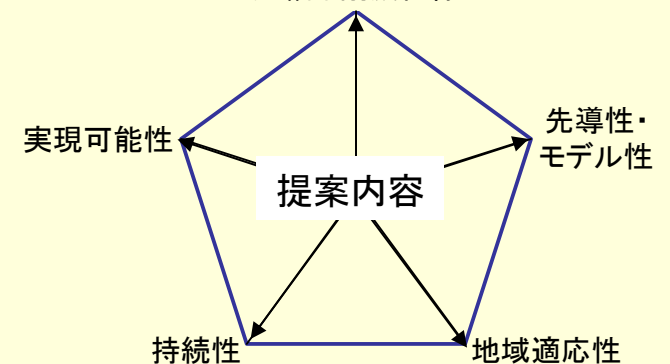
○構成員：

環境モデル都市（13都市）、低炭素型都市・地域づくりをめざす市区町村（70市町村）、都道府県（39都道府県）、関係省庁、関係政府機関等

○主な業務：

- ・ 低炭素社会づくりに向けた取組の拡大（アクションプランの策定支援等）
- ・ 環境モデル都市の取組の進捗状況を評価
- ・ 優れた取組に対する表彰・賞の授与
- ・ 国の施策情報や最新の学術研究等の情報の共有
- ・ 都市と地方の連携強化など広域的取組や複合的取組の企画・推進
- ・ 施策の評価や効果の把握手法等、共通課題の整理と対応

## (参考)環境モデル都市選定基準 大幅な削減目標



※選定に当たっては、「地球温暖化問題に関する懇談会 環境モデル都市・低炭素社会づくり分科会」の意見を聴取。